

令和6年度 瀬戸市新世紀工芸館 第22期研修生募集要項

1 募集コース・定員・研修期間

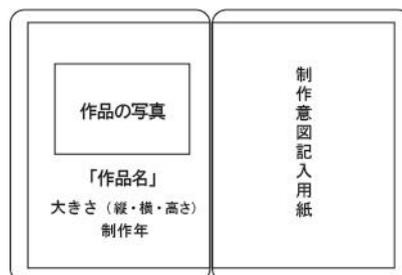
- (1) 陶芸コース 定員：若干名
研修期間：2年（令和6年4月1日～令和8年3月31日）
- (2) ガラス工芸コース 定員：若干名
研修期間：2年（令和6年4月1日～令和8年3月31日）

2 応募資格

- (1) 美術・芸術大学、専門学校などの学校で陶芸あるいはガラス工芸を専攻し、卒業・修了した者、あるいは同等以上の知識、技能、経験を有すると認められた者。
(令和6年3月31日までに卒業・修了見込の者を含む。)
- (2) 2年間を通じて、1週間につき5日間以上の研修活動に専念できる者。
- (3) 外国籍の場合、2年間を通じて日本国内に滞在できる資格を有する者。

3 応募に必要な書類

- (1) 応募用紙 当館指定用紙
- (2) 受験票 当館指定用紙
- (3) カラー写真 3枚（縦4センチ、横3センチ）
上半身を正面から3カ月以内に撮影し、応募用紙・受験票に貼付する。（写真の裏面には氏名を明記すること。）
- (4) 志望理由書 当館指定用紙
- (5) 研修計画 当館指定用紙
- (6) 作品資料
- ・ 作品資料（ポートフォリオ）の表面に氏名と希望する応募コースを明記する。
 - ・ 過去に制作した作品をカラー写真で撮影し、クリアファイル（A4版）に入れ、それぞれの作品に名称と大きさ、制作年を明記する。
 - ・ 代表作品1点は、作品の制作意図を当館指定の「制作意図記入用紙」に記入し、ファイルの最初の頁に見開きで入れる。



※提出された書類につきましては作品資料を含め返却いたしません。

4 応募受付期間

(1) 受付期間 **令和5年10月1日(日)から12月15日(金)まで(12月15日必着)**

- ・当館まで直接持参する場合は、休館日(火曜日)除く、午前10時から午後5時まで受付します。
- ・郵送の場合は、「特定記録郵便」を利用し、宛名面に「研修生応募書類在中」と朱書きしてください。

(2) 送り先

〒489-0815
愛知県瀬戸市南仲之切町81番地の2
瀬戸市新世紀工芸館
TEL: 0561-97-1001

5 選考方法

(1) 選考方法 面接試験及び作品の審査により総合的に判断します。

(2) 面接試験日時 **令和6年1月13日(土)**
(時間は、受験票送付の際に通知します。)

(3) 面接試験会場 瀬戸市新世紀工芸館
(瀬戸市南仲之切町81番地の2)

(4) 持参する物 受験票
作品(1年以内に制作した作品1点)

6 合格発表

令和6年1月26日(金)までに郵送にて通知します。

瀬戸市新世紀工芸館の研修

1 研修活動について

(1) 当館の研修は、基本的なカリキュラムは無く、研修生自ら課題と目標を設定し、各自の計画に基づいて活動を行います。年に数回、様々な分野から講師を招聘し、ワークショップや作品講評、工房見学などを計画しています。

(2) 当館の行う事業は、すべて研修活動として参加・協力していただきます。

《主な事業》

- ・研修生作品展（年度末に成果発表展示）
- ・研修生作品の展示・販売（通年）
- ・せともの祭り（展示・販売）
- ・招き猫まつり、雛めぐり（作品展示）
- ・体験教室の補助
- ・アーティスト・イン・レジデンスでは、招聘作家の滞在期間中、研修生と共同で工房設備を使用する場合があります。

2 工房の管理について

(1) 工房の日常的な管理及び掃除は、研修生が行います。

ガラス工芸コースでは、ガラス溶解炉の維持管理・壺替え作業等も研修の一環として実施します。

3 研修時間

(1) 時 間 午前 10 時から午後 6 時まで
(ガス窯焼成に伴う時間延長は認めています。)

(2) 休館日 火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

4 研修に係る経費

(1) 研 修 費 1 か月につき、20,950 円を前納していただきます。

(2) 燃 料 費 燃料費の 1 割を使用実績に基づき負担していただきます。

(3) 原材料費 全額研修生の負担とします。

(4) 道 具 類 工房設備以外で使用する道具類は各自で用意していただきます。

※燃料費負担額の目安（状況により変動）

・陶芸電気炉（10kw）	本焼成 1 回	360 円程
・陶芸ガス窯（0.5 m ³ ）	本焼成 1 回	700 円程
・ガラス溶解炉	1 か月	3,400 円程
・ガラス徐冷炉	1 か月	370 円程
・グローリーホール	1 日	140 円程

5 レンタル制度について

当館の研修修了生を対象とした、工房設備のレンタルを1週間に1回程度で実施しています。

6 工房の見学

当館の工房内は、窓越しに来館者が見学できるようにしています。